

金属パッチテストについて


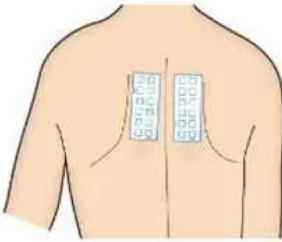
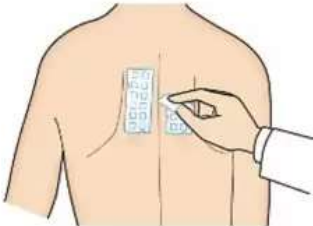

金属パッチテストは、特定の金属がアレルギー反応を引き起こすかどうかを確認するための検査です。このテストでは、金属試薬を含むシールを皮膚に貼り付け、一定期間後に皮膚の反応を観察します。これにより、患者はアレルギーを引き起こす金属を特定し、日常生活での接触を避けることが可能になります。

金属アレルギーって？

アクセサリーや歯科治療で使用される金属が原因となることが多く、触れた部位、もしくは全身性に痒みや発疹ができる反応です。

ニッケル、コバルト、クロムが一般的なアレルギーゲンとして知られています。

パッチテスト予定

1日目 アレルギーを貼る	2日目	3日目 結果判定(1回目)	4日目 結果判定(2回目)
日常生活上アレルギーが成立している可能性のあるアレルギーを貼付します。 	来院はせず、貼付したままでお過ごしください。 	受診してアレルギーを剥がし剥がした影響が取れてから(30分~1時間後)皮膚の反応を確認します。 	皮膚反応を確認します。判定結果の説明をします。 

※7日目に判定を行うこともあります。

金属パッチテストの手順

背中 of 正常な皮膚に金属試薬を含むパッチを貼り付けます。このパッチは、アレルギーとなる金属が含まれており、48時間そのままにしておく必要があります。この間、パッチが剥がれないように注意し、入浴や激しい運動は控えてください。

48時間後、パッチを剥がし、皮膚の反応を確認します。剥がした後は、60分待機し、1回目の判定を行います。この際、剥がした部位にはマジックで印を付け、次回の判定時に使用します。3日目(72時間後)と7日目にも再度判定を行います。これにより、アレルギー反応の有無を確認します。